

# これから伸びる 首都圏の カインシャ

日刊工業新聞社東京支社：編

新型コロナにも負けない有カ企業

# 2021秋

日刊工業新聞社

## ▲株式会社竹森工業

1966年創業、顧客から品質で選ばれる大型タンクメーカー  
 ——技術力に強み、設計・製作から現場据え付けまでの一貫体制でニーズに即応

ここに  
**注目!**

2020年、創業者の竹森要氏が会長に退き、長女の村中美香氏が社長に  
 施工管理技士、溶接技能・管理者ら多数の有資格者、資格取得費用は会社が負担

株式会社竹森工業は大型のタンク、サイロ、各種製缶などの有力メーカーだ。その製品は発電所、ガス会社、製鉄所、化学工場、食品工場、環境施設、下水処理場、製油所など毎日の暮らしや、環境保全に欠かすことのできない様々な施設で使われている。創業は1966年。創業者の竹森要氏が20歳で事業を興し、設計・製作から現場据え付けまでの一貫した業務によって、顧客ニーズにスピーディーに応えられる体制を築き上げた。竹森要氏は創業55年の2020年12月、代表取締役を長女の村中美香氏に譲り、取締役会長に退いた。村中社長は「品質、技術力、人の信頼を付加価値にして、顧客から一層評価され選ばれるタンクメーカーへ」と方向性を語る。パトンは渡された。

### 79種類もの有資格者が在籍、大型の下水処理設備を各地へ納入

「大型のタンクは、工場で製作班が高精度の部材をつくるから、現場で現場班が組み立てられる。

溶接は熱との戦い。いかに熱影響を抑え、歪みを取り除くか。これまでの経験と、熟練工の確かな技術力で、高い品質評価を受けている」「手溶接したテスト部材を出したら、「本当に手でやったのか」と言われたこともある」と、村中社長は品質に自信を示す。

その背景には、社員が日々鍛錬し、技術を磨いていることがある。「数人の製作班をいくつかつって、隣の班に負けないように切磋琢磨する。勉強会を開き、職種別キャリアの目安をつかって資格取得をしている」（村中社長）。

竹森工業の有資格者リストをみると、79種類に及ぶ資格が並んでいる。特徴的なのは「講習会費用とその日当、更新管理費用を含め、費用は全額、会社が負担している」（同）ことだ。国家資格レベルの資格には「報奨金を出す」（同）仕組みも設けている。一般的に資格取得の会社補助は、取得時に費用の半額を補助するケースが多く、竹森工業の技術に対する思いが伝わってくる。

具体的な受注案件では、2012

年の東日本大震災後に耐震基準が改正され、強度不足となった既設球形タンクの耐震補強工事が続いている。また、消化槽やガスタンク、吸着塔（下水処理場で発生する汚泥を発酵させてメタンガスを回収、エネルギーとして再生利用する消化ガス発電の設備）は千葉のほか、埼玉、静岡、愛知、兵庫、熊本の下水処理場に納入している。パンの原料となる小麦粉のサイロ、醤油の原料となる大豆のサイロ、ペットボトルをリサイクルするためのフレックチップサイロ、水族館の水処理用濾過機、さらに自衛隊の航空機用の燃料タンク（地上式、覆土式、地中式）もある。

### モノづくりが大好きな大卒理工系の入社を望む

村中社長に課題を聞くと、「現場からのボトムアップと、模倣困難な強みの伝承」との答えが返ってきた。オーナー会社の大半はトップが引っ張る構図で、従業員はトップ任せになりやすい。しかし、いまは「暗黙知を皮膚感覚で



消化槽



サイロ



球形ガスホルダー



白井工場工場内全景



製作メンバー

理解しているベテランから技術を引き継ぎ、自分たちが次世代を担うという思いを持っている」(同)と手応えを感じている。

悩みがあるとすれば、採用だろう。技術者の採用は、船橋高等技術専門学校(千葉県船橋市)、日本溶接構造専門学校(川崎市)のルートがある。2020年はベトナム人の正規雇用3人を含め、計5人を採用した。今後は管理職候補となる大卒理工系の募集も本格的に行う。村中社長は「モノづくりが好きな人で、施工管理やプラント関連の仕事をしたという方

は、ぜひ応募してほしい」と「モノづくり大好き人間」の仲間入りを望んでいる。

竹森工業の経営理念は「誠心誠意」「知恵と技術」「人間尊重」「社会奉仕」。村中社長は「人とのつながりを大切に、信頼される人の集合体として信頼される会社をこれまで築き上げてきた。きれいな製品はきれいな工場から生まれるとの考えから5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)を徹底。工場は皆がきれいにしているし、従業員の挨拶も気持ちが良い。働きやすい環境を積極的に整

えているので、定着率は高い」とアピールしている。

2021年2月期の売上高は約20億円。「コロナ禍で工事の延期もあったが、売り上げ計上が完成工事引き渡し基準のため、期の後半に完成工事が増え、着地点は前年程度に収まった」(村中社長)。今後については「売り上げを伸ばすより質を高めたい。そのためにモノづくり体系の再構築を図っていく」(同)と筋肉質な会社を目指す方針だ。

### わが社を語る

代表取締役  
村中 美香氏



### 安全・安心な社会、持続可能な社会へ貢献し続ける

竹森工業は、社会に密着した仕事をしている会社です。ESG(環境、社会、企業統治)経営はもちろん、2030年をゴールとするSDGs(持続可能な開発目標)にも深くかわり、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を排出しない設備を志向しています。安心・安全に暮らせる社会、持続可能な社会に向け、これからも貢献し続けます。

千葉県の「社員いきいき!元気な

企業”宣言企業」に登録され、健康経営優良法人としての認定も受けています。ゼロから手掛けたものが形になって世の中に存在していく。受け継がれていく。子供たちにも自慢できる。それは、世の中に貢献するやりがいのある仕事です。モノづくりが好き人はぜひ、一緒に仕事をしませんか?お待ちしております。

### 会社 DATA

所在地：千葉県鎌ケ谷市東道野辺7-18-25

創業：1966(昭和41)年4月

設立：1969(昭和44)年7月

代表者：村中 美香

資本金：3,500万円

従業員数：80名(2021年2月末現在)

事業内容：ステンレス鋼(SUS)および炭素鋼(CS)製タンク・サイロ・圧力容器・製缶品・配管工事・水処理機器・熱交換器ほか設計・工場製作から現場据付工事までの一貫業務。耐食合金(MAT21・ハステロイ)、チタンクラッドなど特殊鋼材にも対応

URL：<http://www.takemori.co.jp/>

